



会場沸かせたオリジナルメドレー

# 満員の客席沸かす

## 飯田高校吹奏楽班演奏会

飯田高校（牧島晃校長）の吹奏楽班吉川愛友班長の第57回定期演奏会が18日、飯田市高羽町の飯田文化会館で開かれた。会場が満席となる1200人ほどが訪れ、実力を感じさせる壮大なクラシック演奏とトランペット奏者のエリック・ミヤシロさんを迎えてのポップスステージを楽しんだ。

同吹奏楽部は、昨年全日本吹奏楽コンクール東海大会に2年連続で出場、冬にはクラリネット八重奏で東海アンサンブルコンテストに初出場するなど実力ある吹奏楽班。本年度は「心」をスローガンに1年生22人を加え61人で活動している。

ステージは「アルメニアンダンス」の高校生とは思えないほど息のぴったりと合った壮大な演奏で幕開け。本年度の全日本吹奏楽コンクール課題曲で日頃の練習の成果を披露した。

第2部のステージは、第1部のクラシックとは一転したポップスステージ。名物のオリジナルヒップソングメドレーでは、寸劇を交えながら物語風に次々と8曲を演奏。高校生らしい若々しいダンスと歌を繰り広げ、客席も手拍子やペンラ

イトを振って盛り上がった。続いて、国内外で活躍するエリック・ミヤシロさんをゲストに迎えてスタートのテーマなど3曲を演奏。ラストステージでは「結」をテーマに3曲の演奏や合唱で生徒達から家族や友人、支えてくれた人々へ感謝の気持ちを伝えた。